

112 SAR. C.R. Clara.

No. 696 BASTOS de AGOSTA de 1963 O PROGRESSISTA REG. Z. 2695 SÃO PAULO A. D.

# バストス通報

第六九六号  
昭和廿八年  
八月九日  
發行

DIRETOR  
KOITI MORI  
REDATOR  
SHION ODA

RUA PRES.  
VARGAS, 188  
C. POST. 112  
BASTOS  
C. P.

REG. Z. 4576  
ANUAL  
CR. #  
500,00

幽邃 32

## 名物男を失う

老兵は消えずということが本当か「消ゆ」というのが正しいのか、よく判らぬがバストスの場合では「消ゆ」の方が当つてしまつた。去る七月三十日バストスの名物男老兵霜出静二氏はカンピーナスへ移転の挨拶するため知友を三四十名複数へ招く。霜出老兵を讃える言葉が口々に出たが、霜出老くらい衰へた世渡りを惜しむ言葉や彼の功績を讀める人物である。又称讃に値する人物もある。カンピーナスの息子さんの所へ行けばいわゆる、ありふれた隠居になつてしまい恐らくバストスで暮したよな味のある生活は嘗めないであろう。再びバストスへ来たいとは云つてもパシアならいざ知らず、仮りにも養老院建設などと云う二事になれば、もはや老の健康がゆるすまい。他郷の人となれば此後老の事を書くことでも少からうと思うのではな向けの意味で彼の歩いた歩を辿つて見よう。霜出老はバストスの草分組の一人であるが途中で一旦退植しているので草分会には入つて居らぬ。退植したのは自分の意志ではなく強要送還の称に立退きを申渡されたのである。それは彼の若かつたころの性格が事件屋風であつたことと、県の移住組合の話と、実地を踏んで見ての感じの相違からくる慢慢と不平が、だま、突する原因となつたのである。プラ拓は各県の海外移住組合の連合会の現地代行機関であり、移住地支那人は、その一職員であるから移住地運営の方針に副つて指揮するには当然だが、霜出老の如き一種の封建性を持つものには、移住地で出る指令令が気にくわなかつたのであろう。移住地事務所にとつては少くともうるさい存在であり、大きく云へば好ましくない存在であつたに違いない。

遂に事務所は本部の諒解のもとに霜出及同志有川の二氏を追放処分に処した。普通の人なら、レヨウ所であるが彼らは彦次揚々祝マシンダインボーラーと大書した懲り押し立てて、大勢の人にはビバで送られつつ勇ましく退去して行つた。有川一家はその後音として消息を漸く

Sapataria Bastos

早川靴店



HOTEL E RESTAURANTE "USSAMI"



バストス名物鯉料理  
鮭こく・鮭の洗い  
いつでも即席すぐできます

ALFAIA RIA IMPERIAL



つたが、霜出一家はランシャリアの附近で棉作に従事し一九三二年から三九年迄足掛け七年位辛棒した模様でその間時々バストスに出入りしていった。ある時老がバストスへ戻り度いから霜出歓迎の懾を立てて大勢で迎えに来てくれといつて来たこととかある。私はその時霜出をエライ奴じやと思つた。一たん追放された所へなど誰が戻るものかといふのが人情の通常であるのに、彼は子供がだんだん大きくなり、息子には嫁を、娘は嫁にとう年になつてくると親として慎重に考えねばならぬ。あれはマンダインボーラの子供だといわれては親はとにかく子がかれい相た。こりやマンダインボーラを取れども、うと考えたといふのである。

そこで移住地事務所を訪ね松木、木村両氏に相談すると中々強硬だったが、例のマンダインボーラの名前のためにその家族までを犠牲にするとは苛酷に過ぎはせぬかと、こちらも性命に食い下がつた。唯の地主になるだけなら金次第でどこで欲しいといふより名誉回復が主であるのにあなた方はそれをも妨ふるのか、とオニコのニロッテを借地という名義で入植の許可をとり、訪日中の畠中さんとが帰植されて、「不可」の決裁をされたら私が植込み退植仕る可く候といふ保証書を入れてやつと話はまとまつた。

然し霜出老は地主としてでなくてはいやだ、ホリを立てて迎えに来なけれどやいやだといつて駄々をこねるのであつた。彼がバストスの住人として戻つたのは一九四〇年六月頃であつたと思ふ。バスの宿屋を始めて生計を立てた。霜出老は他国の飯を食つたことでも、トスへ戻つてからも彼は百姓はせず、馬の移民たちがどんな生活をしていくか自分の眼で見たことは、彼のその後の歩みに大きくアラスした。二つはつきや態度にかわつたところはないが、物の考え方があつたが、これは突然の思いつきで、最近の事だが、これは突然の思いつきで、バストスにユーカリ植林を勧説したのである。墓地美化運動は霜出氏以外の人ではあり、墓地美化運動は霜出堂を作り、佛教会である。納骨堂は石橋長児氏の発案だ。たが、実際に骨身の勞をとつたのは霜出。

長く世話をつげる内、墓地が好きになつてしまい、墓の登録でも依頼され万が二つのようになんで骨上りをしてやる。佛のだから少々かわり者にはちがいないが、佛といふものであろうか。それでいてお経一つよめるわけではなく、行為に於て奉仕につとめるのが念願であった。納骨堂には無縁佛の骨を入れる。宗旨的にはカトリック佛教の差別はない。これまで公式一点張りだ。たのを霜出老は墓地美化にかこつけて、納骨堂内にカトリック教会の許可を得てキリスト立像を購入し、閉扉後も硝子窓を通じて礼拝できることを許す。セансをもつていて見のがしてはならない。

墓地美化の仕事だけでも悠に四年、五六年は霜出老の社会奉仕精神からである。バストス墓地の荒れ模様をなげて美化運動をはじめ、二年かかって完成したのは、この手で達成していった當時の流のつづきで、あり、墓地美化運動は霜出堂を作り、佛教会なく、数年前から納骨堂を作り、佛教会はたとえやはり度くてもできぬようなり、ナワバリが知らず知らずの内にできていたのである。納骨堂は石橋長児氏の発案だ。たが、実際に骨身の勞をとつたのは霜出。

# COMPANHIA SEGURADORA BRASILEIRA

代理人 丸山 敦

万一本測の事故のあつた場合、契約高倍額受取ることができます。  
ホケンには、ぜひ加入して安心して、くらしましよう

セイ  
生命  
保險  
老命

御  
礼

れへぢま

49

系音

右は静子夫人御逝去の節供養の為  
め御寄贈下さいました。御冥福を  
祈り上げます

一九六三年七月廿八日

# ハト不草分会

吉浦秀次郎様

お  
わ  
べ  
告  
浦  
家  
の  
死  
亡  
通

前半二三月の死亡通知並に会葬征  
礼広告の二ページ目の上段に、  
生長の家誌友会、白鳩会、小供会称  
どあります。が、その中に青年團とあ  
る可しきを取落してしまいました。相  
すまぬ事をしました、おわび致します

生長の家青年会議

御  
礼

去る七月二十五日御令陞様の御葬儀  
後香奠返しの御恩召しを以て左記の  
如く御寄贈に相成りました。御懇篤  
な御处置の程ありがとうございました。御受取志且  
つ故人の靈の安らかに在天します  
事を念じ上げます。

生長の家バーストス誌友会

吉浦秀次郎様  
金十コシトス也

金五コントス也 白鳩婦人会

金五  
コントス  
青年  
会

去る七月十九日植木西二さん方では旧友六十名ばかりを自宅に招き、粗酒一はいどころか美酒佳肴で接待された。本來ならば旧友たちが送別会をして植木さんしき時はねばなうぬ所だが、あべこべだ。しかし客の顔ぶれを見ると、シッヂから色々な顔が見えていたので、植木さんとしては、こんど聖市に移転されるので、三十三年間交際を続けた人たちをよんで別れの盃を挙げたかったのであろう。酒がまわるにつれ、思い出話しが出て中々面白かったが、そのうち崎田さんの追想談から、はしゃぐ織田糸音先生の旧悪が露見するに到り満座の爆笑となつた。どうせ爆露された以上、世間に広く発表して罪をほしとした方がよからうと、当夜の録音を文章に綴つてみると、さつと次の通り。

崎田氏 私が植木さんを始めて見たのはバストス産業組合の古い建物時代で、日本から来てまもなく母に手を引かれて買物に行つた時でありました。その時植木さんバルコンの所で、買物のノーラスラスラと書いている。それを私は横でじつと眺めながら子供心に、ああ、あの人はあんなにラジカルを上手に書くがボクも一生懸命勉強して一日も早く、あの人にまけない様にならねはならぬと決心をしました。それ以来今日まで植木さんに兄事して居るようなわけであります。又植木さんは水仙子という号で俳句をよく一生事して居るようなわけであります。又前はとても物にならぬと云われて今はやめで居ります。はじめて植木さんを知り、その後私一人で組合へ買物に行くようになりましが、あれからアリニアツリゴをニキロか三キロ買ひに行き、その後の力石一のボーコに母が作つて家中のものが、それを食べられたのですが、どうも頭が悪くてお前はとても物にならぬと云われて今はやめで居ります。はじめて植木さんを知り、その後私一人で組合へ買物に行くようになります。やはり下だすやう、大変なさわざ、早速病院からKANEKO先生をよんで診てもケガと、毒物による食当りといふことを食べた人です。そうすると、ものの二十分もたたない内に気分がわるくなり、いやもう、吐くやら下だすやう、大変なさわざ、その当時組合の売店の主任をしていた方の話から、旦那をあはいてしまいましたが、その植木さんが立派に成長され堂々

たる弁護士になつたムスコさんの所へ行かれる事になつたので、考えて見ると歳月の流れの早いこと全く夢のようあります。世の中にはひどい人もあるものかな。植木さんのお出話をするのに、今まで引はり出しだけでおだてておいで、旧悪を大勢の中ではうしてしまうんだから手がつけられないとばかり私は恐むのもムリはないが、三十一年の犯罪だから既に時効にかかるといろ苦で、今さら恐んで見てもおつづくまい。何をかくしまよ。集団殺人未遂の張本人は私でございまして」と冗談のように当時の事を述懐したが、商店の主任を引継いで、まもなく毒物入りのパン粉を売つた事件というのがあつた。幸いにして死んだ人が出なかつたから、よかつたがもし一人でも死者があつたら、終生胸につかえて夜な夜なうなされるよう目にあつたかも知れない。

一九三五年頃のことだ。私が購買部の事務所で計算をしていると、溝部さんへ組合の事務故人(?)が入つて来て、前週のサバトに商店でパン粉を買つた人が、ターンゴにして食べた処 中毒を起したというのうんで、今病院から知らせて来た。購買部の方でも調べてくれとの事だつた。病院からの第二回の通報によると、毒物はアルセニッコアラントコウしいというの組合では取扱つていたので、いよいよ犯人の朝は雨がふつていて客が少く、まだパン粉は売つていない。早速平配し物で大箱に盛られたパン粉をすっかり袋詰めにして処分することにした。パン粉で中毒を起したという評判は、すぐ知れ渡つたので、お客様はパン粉を買いに来ないだろうと思つたが、世間は広いもので、新しく入れ替えた大箱から、パン粉は相変わらず売れていいくのであつた。

それにしてもどういう道筋で、アルセニコドリコがパン粉の箱に混じたものであらうか。私は販売部の責任者である關係上知らない。中毒を起した人は十人位で、その内崎田家が五人とすると、あとの五人は他家人だ。病院に問合せると、全部で七人だと治つてしまつた人もあるかも知れないが、被擄者の少かつたことは、もつての幸いだつた。パン粉を入れる大箱の二つ一部に少量の毒物が投入され、広く撒きまわされなかつたのだろう。

その購買部では農薬、毒物も扱つていて、倉庫も別の場所で、食料品扱所

花の御礼  
入植祭につたない唄を歌はました  
花を戴き有難うございました

利勝田牟志

志  
牟  
田  
勝

利

吉浦秀次郎夫人の死をいたみて  
志牟田一重

志 玉田 一 重

(御冥福を祈ります)

金毛千クルセーロス也

このたびカンヒー・ナスの方へムダ  
ンサされることになり、「おしろし」と  
とて寄贈されました。ここでねりに  
あり得るうござります

八月生花同好會

卷之三

一九三五年頃のことだ。私が購買部の事務所で計算をしていると、溝部さん（組合の事務故人）が入って来て、前週のサバトに売店でパン粉を買った人が、夕食にシゴにして食べた処で中毒を起したといふんで、今病院から知らせて来た。購買部の方でも調べてくれ」との事だつた。病院からの第二回の通報によると、毒物はコレニウム。

物はアラセニアーフランエラシィというのである。当時蠍殺の薬としてアラシコを組合では取扱つていたので、いよ／＼犯人はこゝちに廻つて未だようだ。月曜日朝は府がひつて、家がひつて、

の草は雨がふいていて客が少くまたハ  
テのパン粉は壳つていない、早速手配し  
て大箱に盛られたパン粉をすゝカリ袋詰  
めにして処分することにした。パン粉で  
中毒を起したこと、平判紙で口と腹

うと思つたが、世間は広いもので、新しく入れ替えた大箱から、パン粉は相變らず売れていくのである。

それにしてもどういう遙路で、アルセニコ  
ブランコがパン粉の箱に混じたものであろ  
うか。私は販売部の責任者である關係上  
その登場を深査しておかなければ安らぎ

ない。中毒を起した人は十人位で、その内崎田家が五人とすると、あとの五人は他家の  
人だ。病院に問合せると、全部で七人だと

治つてしまつた人もあるかも知れないが、被撰者の少かつたことは、もつての幸いだつた。パン粉を入れる大箱の二く一部に少量の毒物が投入され、玄く薫きまつ

れなかつたのだろう。  
その購買部では農薬・毒物も扱つてゐ  
るので、倉庫も別の場所でし、食料品扱所

## びつこの王様チム・トル

。イラン、イラクを平定する。チム・トルの軍が東方サマルカンドに帰るとペルシャでは反乱が再発して、ほってもあらず彼は第二遠征軍を率いて一三九

二年西方へ出発した。最初の攻撃はカスピ海の南岸にテヘラ

ンといふ都市があり、西北にかけてエルブルツ山脈があるが、この山に城塞を作りて、山賊式なあの方をするイスマイリ教団があり、百年前モンゴルのフラグとい

う勇将のため徹底的に打ちのめされ、四散したが、再び残党が集つて、殺人放火掠奪をやり出した。こういうのは愚連隊の大かかりなもので、何百人という武裝した愚連隊が掠奪を専門にやるのだから、治安は乱れるばかりである。チム・トルはイスマイリの城塞を破壊し掠奪団をせんメツした。

発売元 遠藤貿易株式会社  
スープ味面白帖 一二二

聖市ガルボンブエノ街二二二番七階



Tempero de Alta Qualidade  
Glutamato de Monosódio 99.9%

**SUPERAGI**

Reg. S.P.A.P. № 25.338 Peso Liquido 100g.



スープ

王様！

味は化学調味料の

みぞしるにもスープ味！

スープ味

三陸沿岸の焼ウニ

岩手県宮古市、重茂崎山海岸、この辺はワカメ、コンブ、アビの名産だがウニも多い。ウニの漁期は四月から八月迄。作付けは荒磯のイガウニの口をあけて黄色の卵巣をとり、水洗してアビの貝殻にウニを山盛りに、アリキ製の容器にいぐつも並べて蒸し焼きにするのであるが、火加減が大切、上等の木炭を充分に火にしてから焼く、よく火にならない内入れたらガスの作用でやるところ。漁民の手作りだから、うまいけれど保存がきかず、遠方へ輸送はだめ、切角の珍味だが地元へ行かぬと口に入らない。残念ながら、辺境の特産物といふところ、それでも一漁期に四十万個作り、県内の売上げ二千万円といふから、一寸としたかせぎである。

チム・トルとの決戦に戦畠を誤り、最初はシヤールックに首をあげられてしまった。チム・トル軍を苦しめたが、チム・トル軍長駆西方に進みバクトニアに陥り、マンスール自身もチム・トルの子ルックは勇猛な王子で有名であった。二年後、同年北方のイラク山中のタクリット城塞を本拠とするハサン族を征服したが、彼らも掠奪を業とする無賴な種族であった。たつぱり兵をロシアに進める。チム・トル軍が、同年改郷サマルカンドに攻畠し、モスクウにいた旧敵トクタミシエの兵を撃破して、帰途カフカス(カサス)地方を平定しつつ、一三九四年改郷サマルカンドに凱旋した。

チム・トルはもう六十歳を過ぎていが、彼は、こんどは印度遠征を企て、一三九八年九月の大軍を起して、アフガニスタン方面から三体に別れて進軍した。何故インド遠征を決行したかといふと、チム・トル研究の歴史家の言に従えれば、インドの土地が欲しいのではなく、彼の中央アジア領の保全のため、或はペルシャなどインドに近い方面が、いつも反乱を起すのはインドの後援によることが多い。一つ北西インド諸侯を叩いておく必要があると考えたからだと云う。彼の政治眼も相当なものであつたといえよう。

チム・トル軍を苦しめたが、チム・トル軍長駆西方に進みバクトニアに陥り、マンスール自身もチム・トルの子ルックは勇猛な王子で有名であった。二年後、同年改郷サマルカンドに攻畠し、モスクウにいた旧敵トクタミシエの兵を撃破して、帰途カフカス(カサス)地方を平定しつつ、一三九四年改郷サマルカンドに凱旋した。

チム・トルはもう六十歳を過ぎていが、彼は、こんどは印度遠征を企て、一三九八年九月の大軍を起して、アフガニスタン方面から三体に別れて進軍した。何故インド遠征を決行したかといふと、チム・トル研究の歴史家の言に従えれば、インドの土地が欲しいのではなく、彼の中央アジア領の保全のため、或はペルシャなどインドに近い方面が、いつも反乱を起すのはインドの後援によることが多い。一つ北西インド諸侯を叩いておく必要があると考えたからだと云う。彼の政治眼も相当なものであつたといえよう。

金二千クルゼーロス也

このたび聖市へ御移転の際、長らく世話になつた志」という程の恩召して御贈下さいました。厚く御礼申上ります。

七月卅一日

アルト区

小野田和明様

御礼

金五千クルゼーロス也

亡き奥様の御葬式に際し香奠返しとし

金三千クルゼーロス也

七日のミサをなさいました節記念と

あつく御礼申上ります

八月一日

バストス暁の星会

吉浦秀次郎様

御礼

金五千クルゼイロ也

御令閨様御葬式後香奠返しの御意志で

前記金員御寄贈下さいました御懇意

有難御礼申上げます

七月三十日

クロリアス区三組一同

吉浦秀次郎様

御礼

金三千クルゼイロス也

故夫人様御逝去に際し供養のため特に当

組へ御寄贈下さいました。厚く御礼申上ります。

クロリアス区三組一同

吉浦秀次郎様

御礼

金三千クルゼーロス也

今般(七月廿七日)会館を使用されまし  
たしるとして御寄付下さいました。  
厚く御礼申上ります。

クロロアス区三組一同

風間啓蔵様

アルト区

金五千クルゼイロス也

御令閨様の御逝去を深悼致します。

又その節は香奠返しとして表記額

御贈与相成り御好意厚く御礼申上ります

八月一日

バストス柔剣道連盟

吉浦秀次郎様

御礼

金二千クルゼーロ

生長の家白鳩会

金二千クルゼーロ

生長の家バストス

真木輝男様

御礼(金三千クルゼーロス也)

母堂七回忌追善のため御寄興有難く御

禮申上ります

七月三十日

墓地世話人霜出、杉山

真木輝男様

御禮(金三千クルゼーロス也)

母堂七回忌法要をなさいました節へ

御寄進下さいました。ありかたく頂

戴申上ります。

バストス南米本願寺

真木輝男様

御禮(金三千クルゼーロス也)

母堂七回忌法要をなさいました節へ

御寄進下さいました。ありかたく頂

戴申上ります。

バストス南米本願寺

御礼

CESTA DE NATAL AMARAL S/A  
BRIQUEDOS AMARAL S/A

INFORMA:-

Resultado do sorteio realizado em 31-7-63. Extração pela loteria Federal.

- 1º PREMIO - Nº 27.134 - Uma Casa ou um automóvel
- 2º PREMIO - Nº 97.724 - Um Televisor "21"
- 3º PREMIO - Nº 97.703 Uma lavaadeira automática
- 4º PREMIO - Nº 28.818. Um refrigerador gelomátrico

Alguerdo Paskakulis

AGENTE

八月九・十・十一・十二

毎夜 八時 半開幕

十一日の日曜 マチネ

15時より

# CIRCO TEATRO 'ROLFF'

Dia 9, 10, 11, e 12 de agosto

STRIP  
SHOW

邦人唯一の興行師 南勝師 来る  
はじめての御目見得

すばらしいストリップ。

ショウ マーラー 行

団員男女二十五名の大一座

日本人バレリーナ 兵藤貞一 初演の熟演

「ねまきをぬいだ天女」 「さくらの国」

各地で、すごい人気、大入満員、これだけ座員をもつた

ショウはサンパウロでも一寸見られません

本年度最高の笑いとあたのしみ

演舞場へ



移轉御挨拶

私二之

家庭の都合により、こんどサンパウロに移転することになりました。御当地には満三十三年という長い月日を送りました。私の人生の大半を過させてもらつた最も深い縁故がありますので、女々しい言葉ですが、後ろ髪を引かれる思いであります。私の転住の主なる動機は子女の教育で子供が残らず上聖して居りますので、「牛に曳かれて善光寺詣り」ではなく「子に引かれて聖市へ移転」が本音であります。私はかくも長年月御当地の皆様の御世話をなつて居り乍ら何一つ御返しができず、内心恥かしく思つて居ります。且つ又今日までどうやら一家恙なく暮して参れたことを考えます出来れば何年かの後には老後を御当地で過ごし度く、それまでには何かの御報恩を考えて居ります。私で役に立つことでしたら何卒御遠慮<sup>古</sup>仰せつけ下さい。又特別な待遇はできませんが御出聖の折りには是非御訪ね下さつて御休憩下さるよう願います。

どうか皆さん御健康でお暮しなさいます様 又末筆乍ら出發の際は御餞別など頂きありがとうございます。

Torjii Ueki  
Rua Gaspar Fernandes N° 15  
MONUMENTO (CAMBUÇI)  
São Paulo

聖市ルア・ガスバルフエル

植木酉

知友各位様

去る七月廿二日、実弟光政が作業中、  
大如機械が破裂し、その破片が胸部を  
直打しましたので卒倒するような事故  
が起りました、

五頁チムールの話ここへ続く  
チムールがインド遠征から故郷サマル  
カンド凱旋すると、時代は十五世紀に入  
りヨーロッパでは、ぼつゝ新しい時代の  
いふきが聞こえだしていった。  
チムールは七十歳になつても元気旺盛  
で、西方バクトニアに反乱が起つたとい  
う情報が入ると又々軍を率いて、西アジア  
ア小アジアに侵入して、アレツボ、タマス  
クをとり、バクタードを回復した。  
その頃小アジアには、オスマントルコが  
勢力を張り、バイヤード王は、バルカン半  
島まで侵入してキリスト教徒を打ち倒す  
字軍は、しばしば彼のために惨敗を蒙つた。  
チムールは、そのバイヤードの小アジア  
に侵入したからだまらない。バイヤード  
はコンスタンティノポルで十字軍と戦つて、  
が、チムールの来征をきいて軍を返した。  
両軍はアンカラ附近ヘトロコで衝突した。  
戦は激戦で且つ最悪の戦斗だった。だが  
チムールは部下をいたわる寛容たるに反  
し、バイヤードはかむしやうな王だから部  
下の逃亡者がチムール軍に寐返りをやつ  
たので遂にバイヤ軍は潰滅し、バイヤ王  
は捕虜になつてしまつた。  
チムールはアンカラとコンスタンティノポルの  
中間にあるスミナに入城し、そこからイ  
ギリスのヘンリー四世に書簡を送つて通  
商を申込んだ。



花の御礼

入植祭演芸会出演の際御花をいたしました

七月二十五

握田藻重

七月廿日

吉田

子

花の御元

入極深の松庭台に上りかけられき跡り  
ました節御好評賜わリ御花頂戴いたしま  
せた。誠にありがとうございました。

卷之三

吉田

子

伯内光田  
山見行  
西政行  
古川キタン  
友谷和子  
柳浦バル  
岡田和子  
宮田バ  
森武勝  
亜利  
龜百子  
田政市

上砥前川樋島倉福  
西谷原辺口本森  
キミ子辰イサヒサト  
ガ代ノト  
様様様様様様様

Digitized by srujanika@gmail.com

西殘谷見吾市  
高田車利サ  
本浦光ヒサ  
田内ヒサ  
本武サ  
田八サ  
フ洗潤ノ  
太潤店  
ト

様様様様様様様様様様  
古宮前森石友福川  
川此原谷森辺  
キタモリヤマカワシイ  
父勝辰政敏和照サ  
父タケルノミツヨシミツハコサ  
玄甫代市子子夫一  
スヌバタ代市子子夫一  
様様様様様様様様

— 1 —

花の御礼  
入植祭演芸に出まして皆様より御花を  
さ誠に有難うございました。  
七月三十日

谷田 岩谷 田 部 部 部 チヨウ  
伯光田 榎田 さよ 幸恵子 子子  
駮島富代 様 様 様 様 様 様  
村田 つゆ 様 様 様 様 様 様  
島本フネト 様 様 様 様 様 様  
岡本恵子 様 様 様 様 様 様  
村田 寛 様 様 様 様 様 様  
小池源衛 様 様 様 様 様 様  
池田シマ 様 様 様 様 様 様

三十五周參祭典季貿金  
田中聖  
ホンダソウタケミヨシ郎 様  
故父森垣與一様(元エスペランサ区)十七回  
忌を修せられました折、永代経として  
御寄贈下さいました。厚く御礼申し上  
げます。  
八月二日 バストス南米本願寺

花の御礼  
入植祭の松舞台でカジボレを踊らせて頂  
き皆様より御花頂戴、ありがとうございました  
ました。七月三十日

有馬佐保

様様様様様様  
上吉杉梶天高田重利  
原田藤田商店  
三四シ子房宏子介店昇利  
様様様様様様  
多

金二千カルセ一口ス也  
右は御子息様の御結婚祝として御  
寄進下されたもの、厚く御礼申上  
けます



